

平成25年 2月
(2013年)

○石巻専修大学では、弊社災害用浄水機の運用について災害時独立して稼働可能な、太陽光発電装置、風力発電装置、蓄電池での運用実験を行っております。(2月21日)



○弊社の災害用浄水機が関西大学で採用され平成25年2月に①高槻キャンパス②堺キャンパス③北陽キャンパスにそれぞれ納品されました。

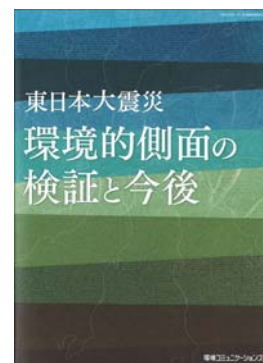


○平成25年2月中旬に、弊社の災害対応型家庭用浄水器が大分合同新聞、信濃毎日新聞等の地方新聞に「逆浸透膜を使用した浄水器本体にバッテリー等を含む専用キットをつけることで、普段は家庭で浄水器と使用していたものが、災害時には雨水や河川からでも飲料水を作ることができる。セシウム等放射性物質の除去能力もある」と紹介されました。



3月

○環境コミュニケーションズ社発行の「東日本大震災 環境的側面の検証と今後」誌に弊社災害用浄水機 要約比較仕様が載っております。(3月11日)



平成25年
(2013年) 3月

○日経流通新聞に、弊社の災害対応型家庭用浄水器が日経流通新聞 日経MJ新製品コーナーに「普段は家庭で浄水器と使用していたものが、バッテリー等を含む専用キットをつけることで、災害時には雨水や河川からでも飲料水を作ることができる。セシウム等放射性物質の除去能力もできるスーパー浄水器」として紹介されました。(3月15日)



4月

○4月21日～4月30日放送の吹田市広報番組「お元気ですか!市民のみなさん」で弊社が紹介されました。



5月

○吹田産業フェアの宇宙関連事業所コーナーにて展示実演を行いました。また、宇宙飛行士 山崎直子氏を招いての講演会のお手伝いをしました。(5月11・12日)



6月

○公益財団法人 日本宇宙少年団 千里分団が2013年6月9日に発足しました。この吹田初の日本宇宙少年団 結団のお手伝いをさせて頂きました。



平成25年
(2013年) 3月

○日経流通新聞に、弊社の災害対応型家庭用浄水器が日経流通新聞 日経MJ新製品コーナーに「普段は家庭で浄水器と使用していたものが、バッテリー等を含む専用キットをつけることで、災害時には雨水や河川からでも飲料水を作ることができる。セシウム等放射性物質の除去能力もできるスーパー浄水器」として紹介されました。(3月15日)



4月

○4月21日～4月30日放送の吹田市広報番組「お元気ですか!市民のみなさん」で弊社が紹介されました。



5月

○吹田産業フェアの宇宙関連事業所コーナーにて展示実演を行いました。また、宇宙飛行士 山崎直子氏を招いての講演会のお手伝いをしました。(5月11・12日)



6月

○公益財団法人 日本宇宙少年団 千里分団が2013年6月9日に発足しました。この吹田初の日本宇宙少年団 結団のお手伝いをさせて頂きました。



平成25年 9月
(2013年)

- 平成24年度補正ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金に当社の「開発途上国向け高度処理浄水ユニットの試作開発」が採択されました。

全国で11,926件の応募があり、大阪府分として717件採択されました。応募中、開発途上国向け浄水関連および浄水装置の開発では国内初の採択となりました。この支援により、当社の技術開発スピードも加速され、迫りくる世界各地で頻発する「水」問題や人口爆発による国際危機に「安全な水の提供、開発途上国の人々の健康への貢献」として、当社の浄水技術が国際社会において、大いに役立つこととなります。(9月1日)



- 「ぼうさいモーターショー&移動式こども基地」で災害用浄水機の展示実演をしました。

色水から浄水を行い、子供たちに試飲してもらいました。子供たちからはおいしい、ビックリなどの反響をもらいました。災害時の飲み水の大切さも学んでもらいました。(9月8日)



平成26年 1月
(2014年)

- 榊の枝を水(弊社クリスタル・ヴァレー水)に挿しておく、このように根が出てきました。

水がよく浸透して根が出るほど生命力が維持されているようです。(1月23日)

